

◎リズミック錠 [内]

【重要度】★★ 【一般製剤名】アメジニウムメチル硫酸塩 amezinium metilsulfate 【分類】本態性・起立性・透析時低血圧治療剤

【単位】◎10mg/錠

【常用量】■本態性低血圧，起立性低血圧：20mg/日 ■透析施行時の血圧低下の改善：透析開始時に10mg

【用法】■1日2回 ■透析開始時に服用

【透析患者への投与方法】透析開始時に1回1錠 (1) 症例によっては増量が必要な場合もあるが尿中未変化体排泄率が高いため要注意 (5)

【その他の報告】糖尿病性腎症由来の血液透析患者において透析中の血圧低下は抑制するものの、透析後の起立性低血圧には効果が期待できない (透析会誌 34:1233-8, 2001) 透析開始時にリズミックとグレープフルーツジュースを同時服用すると、透析開始4時間目の平均血圧に有意な上昇をみたという報告がある (林郁江, 他: 透析会誌 33: 279-85, 2000) が、他院の学会報告では追試すると平均血圧に差がなかった (稲庭由美子, 他: 透析会誌 35: S987, 2002) という報告もあり

【保存期 CKD 患者への投与方法】Ccr>50mL/min : 10~20mg/日, Ccr 10~50mL/min : 10~15mg/日, Ccr<10mL/min : 5~10mg/日 (5)

【特徴】内因性ノルアドレナリンを介した交感神経機能亢進作用により血圧を上昇させ、低血圧に伴う自覚症状を改善。交感神経の末梢神経内に選択的に取り込まれ、内因性ノルアドレナリンの不活性化を抑制することにより交感神経系を刺激する。エチレフリンと異なり収縮期血圧だけでなく拡張期血圧も同程度上昇させる。血管α受容体および心臓β受容体を刺激する。SBP, DBP 両者を上昇

【主な副作用・毒性】発疹、動悸、めまい、白血球減少、顔面のこわばり、悪心、ほてり感、高血圧など

【F】50~67% (Arzneimittelforschung 31:1605-15, 1981)

【tmax】1.7~2.7hr (1)

【代謝】ほとんど代謝されない (1) ごく一部が代謝され硫酸塩包合される (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率 33~42% [po, 48hr まで] (1) 77% [iv] (Arzneimittelforschung 31:1616-5, 1981) 親化合物・代謝物ともに主に腎から排泄され、腎以外の排泄は 30%、腎クリアランスは一定ではなく初期は GFR を超えるが、後に GFR と等しくなる (Arzneimittelforschung 31:1605-22, 1981)

【t1/2】12hr (Arzneimittelforschung 33: 1491-7, 1983) 9~17hr (Arzneimittelforschung 31: 1605-15, 1981) 【透析患者の t1/2】非透析時 25.9hr, 透析時 19.2hr (1)

【蛋白結合率】20.7% (1)

【Vd】2~3L/kg, 分布は速やか (Arzneimittelforschung 31: 1605-15, 1981) 201~476L/man (Arzneimittelforschung 31:1653-7, 1981)

【MW】313.33

【透析性】添付文書によると血漿濃度は透析後に低下しているが、アメジニウムの Vd は大きいため透析直後の血中濃度は低下していても体内の総アメジニウム量は透析によって大きな変化を受けないものと考えられる (5)

【TDM のポイント】TDM の対象にはならない 【O/W 係数】0.01 [クロロホルム系 pH7.2] (1)

【備考】甲状腺機能亢進症、褐色細胞腫、狭隅角緑内障、前立腺肥大で禁忌、重篤な心臓障害のある患者では交感神経亢進作用を介する心刺激作用による心機能障害の悪化の可能性があります。慎重投与。

【更新日】20210703

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。